

平成29年度 まちづくり部会会議録（別紙） 現状と課題について

NO	ページ	編-章-節	項目	担当G	まちづくり部会各委員からの質問・意見
1	9	2-1-1	1. 地域福祉の環境づくり	福祉G	委員 くるくる号の利用状況は。 氏家補佐 1便あたり2～3人。マックスバリュで乗り降りする人が多い。また、ニコットでも買い物をしたいといった声があり、バス停を新設。
2	10	2-1-1	2. 民間社会福祉活動の推進	福祉G	委員 生活保護受給者は何歳から何歳くらいまでいるのか。 高島課長 20代前半～80歳代の方がいる。
3	12	2-1-2	1. 少子化・子育て支援対策（子育て支援策）	福祉G	委員 民間託児施設は今は休止とあるが、緊急のための施設だったのか。 高島課長 時間的又は一時的に預かっていた。一時保育とは別である。また、休止の理由としては、絶対条件として保育士を常駐させなければならない。また、夢というは従来介護や高齢者向けのサービスを主に行っており、休止する時点では保育士の有資格者が1人しかおらず、道の指導を受け託児を兼務できなくなったもの。 委員 再開は検討しているか。 高島課長 困っている方がいるので検討はしているが、常時職員を配置しても仕事がない場合もあるので、都合良く対応可能な人員確保が難しい。
4	13	2-1-2	1. 少子化・子育て支援対策（保育園）	福祉G	委員 保育園は休憩がなく過酷であるが、給料をあげるなどの話はでているか。 高島課長 特に出ていないと言うか耳にした事はない。村職員であるため給与表に準じて他の職員と横並び若しくは、一般事務職よりも上位である。民間の保育園よりも高いと認識しており、給与面で要望等は出てこないと思われる。 委員 認定こども園は、保育園と幼稚園を一緒にしたものか。国で決められたものか、それとも選択できるのか。 高島課長 国が推進している。また、認定こども園にも種類があるが、村は最もスムーズに移行可能な「保育所型」としている。今までとあまり変わらないが、+αで教育的要素を取り入れなければならない、学校に繋げるため何をしていくかが、今後の課題となる。まずは、サッカーや器械運動などを取り入れ、課題である体力づくりを行っていきたい。 委員 就学前の子どもは全員入っているのか。 高島課長 年中以上はほぼ入っている。また、認定こども園にしたメリットとして、今までは仕事をしていない家庭の子は預かれなかったが、移行後は村が認定する事で3歳以上の全ての子を預かることができるようになっている。

平成29年度 まちづくり部会会議録（別紙） 現状と課題について

NO	ページ	編-章-節	項目	担当G	まちづくり部会各委員からの質問・意見
5	14	2-1-2	1. 少子化・子育て支援対策（放課後児童クラブ）	福祉G	五十嵐部会長 現在、低学年だと2/3以上が通っているのか。また、施設に対して、子どもが多いのではないかと。 高島課長 学年が下になるにつれて希望者も増えている。開設にあたって面積要件はクリアできているが、手狭な印象は確かに受ける。中札内の定員は80人で設定しており、現在は80数名の登録があるが、平均すると60人くらいの児童が通っている。
6	16	2-1-3	1. 自立と生きがい対策	福祉G	委員 高齢者は何歳からになるのか。 高島課長 一般的には65歳からを指すが、バリバリ働いている方も多くいるので、そういった印象は薄いと思われる。 五十嵐部会長 老人クラブの現状として、事業等は活発に行われているのか。 高島課長 過去と比較すると、自主的な活動になってきていて活発である。しかし、会員数は減っており、その年齢になっても加入しない人も多くいる。
7	20	2-1-4	1. 障がい福祉サービス	福祉G	委員 障がい者手帳の取得で、昔は市町村によって認定が厳しく、認められないなどがあったが今はどうか。 高島課長 申請は村で受けているが、関係書類を上げ認定については道で行っている。 委員 各市町村の職員が変わると取得しづらい取得しやすいなどはあるか。 高島課長 あまり聞いたことはないが、担当者によって違うのかもしれない。
8	27	2-2-1	2. 労働環境の整備	住民G	委員 職業訓練の内容はどのようなものか。 山崎課長 運転免許の取得や玉掛け等資格取得の助成。パソコン講座の開催など。 委員 対象者は。 山崎課長 ハローワークで雇用保険の手続きをしている人が対象である。また、帯広・南十勝通年雇用促進協議会が窓口になっている。ハローワークで把握している季節労働者には案内を出しているが、村では人数がわかるだけで対象者が誰かはわからない。役場から協議会といった流れでも大丈夫だが、基本は協議会が窓口である。
9	31	2-3-1	4. 成人保健・生活習慣病対策	福祉G	五十嵐部会長 健診受診率アップは難しいか。 高島課長 ここでの健診受診対象者は国民健康保険の対象者のみである。高いところでは80%位の受診率もあるようだが、村は42～43%ぐらいの健診受診率。5～6年前よりはアップしているが、なかなか伸びないのが現状で、昨年受けたので今年は受診しないなどの声も聞くため、担当段階でも苦慮しているところ。